



令和4年 12月 15日

第 483号

新発田市立東豊小学校

ホームページ <http://toho.shibata.ed.jp>

夢の力～サッカーと外国語～

東豊小学校 飯塚 進

サッカーワールドカップでは、勇気と感動をいただきました。日本の決勝トーナメント出場は、予選リーグの中でも特に厳しいグループの中であって、難しいのではないかという意見もあったようです。実際、ドイツ戦の前半終了時や、コスタリカ戦での敗戦、スペイン戦前半終了時など、それぞれの局面で、やはり進出は厳しいかもしれないと思ってしまいました。「大丈夫。きつとうまくいく！」と信じ切れていなかったところが正直ありました。ところが、みなさんも御存知のとおり、日本はドイツに勝利し、スペインにも勝利し、1位通過で決勝トーナメントに進むという快挙でした。日本代表のみなさんのおかげで、本当に楽しく感動的な時間を過ごすことができました。信じていなかったことを棚に上げてしまって恐縮ですが、感謝の気持ちでいっぱいです。

ところで、選手のみなさんについて、サッカーとは別に感服したことがあります。それは、選手のみなさんの多くが、外国語を流暢に話したり、聞いたりすることができるということです。

私が知った範囲ですが、久保建英選手はスペイン語、吉田麻也選手、堂安律選手、三笥薫選手は英語、川島永嗣選手にいたっては数カ国語も話せるとのこと。その他の多くの選手も外国語でスムーズに会話ができるということです。選手のみなさんが、外国人の記者から矢継ぎ早に質問されても、外国語で堂々と答える姿を拝見しました。サッカーの技術はもちろんですが、このように外国語で自由自在に会話ができる選手のみなさんを心から尊敬します。

選手のみなさんは、どうしてこんなに上手に外国語を話せるようになったのでしょうか。もともと外国語を話すことを目標にして生活してきたわけではないと思います。「サッカーが上手になりたい！」という大きく、強い夢をもち、その実現のために自分の人生をかける時、外国語は1つの手段として必要不可欠だったのでしょう。夢の実現のためには、苦労を苦労と思わない状況だったのかもかもしれません。夢の力は偉大です。

子どもたちに夢をもってもらうこと、子どもたちの心に火を付けること、そんなことができるといい、そんな学校でありたいと、日本代表の選手のみなさんを見て改めて思いました。

保護者、地域の皆様のお力添えのおかげで、2学期が終了します。感謝申し上げます。御家族皆様で、良いお年をお迎えください。